

「地域活動担い手養成講座」を開催しました

令和7年12月20日(土)、「地域活動に参加したくなる仕組みづくり」をテーマに、盛岡タカヤアリーナ(本宮五丁目)にて令和7年度地域活動担い手養成講座を開催しました(主催:盛岡市、共催:盛岡市町内会連合会、玉山地域自治会連絡協議会)。

町内会・自治会の役員、地域活動に興味がある人など、約30名が参加しました。

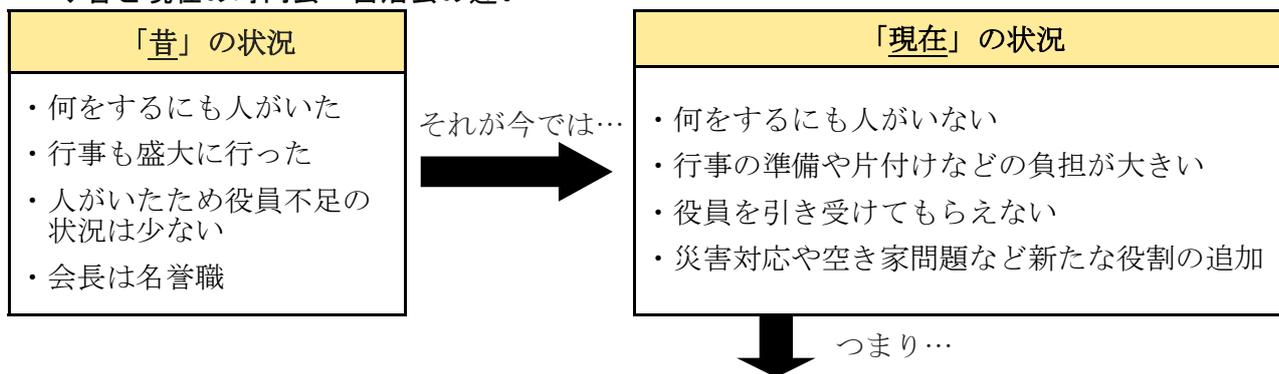
○講師

特定非営利活動法人いわてNPOフォーラム21 なかむら きょうか 中村 恭香 さん



○主な講義内容

◆昔と現在の町内会・自治会の違い



従来と同じ活動を同じ量で行っているのは、一人当たりの負担が増加してしまう

◆課題に対する対応策

- ・注力(継続)する事業と廃止する事業を地域で話し合う。
- ・自らの町内会・自治会の会議等に加え、外部団体から頼まれて出席している会議等についても外部団体と一緒に負担軽減について検討する。

◆若い世代の参加について

- ・若い世代に話を聞くと、地域活動に関心がある人も多い。
- ・どのイベントに参加したらよいかや、参加の仕方が分からない。
- ・従来の回覧板などでは若い世代に情報が届きにくい。若い世代にも情報が届くような情報発信が必要。

○グループワークで出された主な意見(テーマ:負担軽減や若い世代の参加に向けて)

- ・役員間の連絡にLINEなどを導入する。
- ・何かを頼む際、負担にならないように役割を細分化して依頼する。
- ・地域の人だけではなく、学生さんなどのボランティアからも参加してもらえる環境をつくる。
- ・若い世代にイベントを考えてもらい実施する。
- ・人気のないイベント等の見直しを行う。
- ・子ども向けのイベントを行い、子育て世代の人に参加してもらおう。
- ・近隣の町内会・自治会や、その他団体と一緒にイベントを行う。
- ・二次元コードでイベント参加者の取りまとめを試みる。
- ・回覧板を確認した時は判子や日付などのサインをもらう。
- ・手元にお知らせが残るようにイベントや行事のお知らせは各戸配布する。



盛岡市ホームページ
での記事はこちら
(広報ID: 1055453)

